

第1回 輪島中学校関係者評価委員会 質疑応答内容（令和7年9月29日）

意見

【委員 A】

学校の現在の考え方を継続してほしい。授業の内容がしっかり身につくように取組を短期で終わらせないようにしてほしい。

掲示物がずれている教室もあった。そのような面も大切にしてほしい。

学力調査から3年の英語と数学に課題があることがわかる。高校入試に向けてもう少し力をつけてあげてほしい。

【委員 B】

輪島高や門前高は受験競争がない。だから勉強しない。高校の先を見据えて、子どもたち同士に競争心を持たせるような取組をしてほしい。

【委員 C】

輪島高校でもその点について考えている。どんな高校であってほしいかというアンケートをとった。高校を卒業した後の進路について考えさせていく。それには中学校段階からの取組が必要である。中高連携して取り組んでいきたい。

【委員 D】

家庭学習については、親にも考えてもらう必要がある。

ICTの活用や板書をもっと丁寧に書くなど、授業面で改善する点がある。

アンケート結果があるが、匿名のアンケートにした方が、正直な生徒の意見がわかる。

【委員 C】

中高でどんな交流ができるか。11月1日に高校で総合学習の発表がある。国際化やAIの活用、アプリ開発について取組を進めている。ぜひ中学生に見に来てほしい。

質問

【委員 A】

保護者アンケートの回収率は？

<回答> 通知簿渡しの際に入力してもらったため、ほぼ全員からの回答が得られた。